

# BR-EIA110DW 組立説明書

## BR-EIA110DK

このたびはケイアイシー AVラックをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

- 組立前に部品表と組立完成写真を参照して部品を確認してください。
- 組立にあたってお手持ちのプラスドライバーをご用意ください。
- 床やラックを傷つけないよう注意して組みたててください。



大きさ (mm) ・質量  
W 600×H 618×D 586 26kg

### 部品表

#### 天板・底板セット

天板 ..... 1  
底板 ..... 1  
キャスター ..... 2  
(ストッパー付)  
キャスター ..... 2  
キャスター取付ビス ..... 12

#### 側板セット

側板 ..... 2  
背板 (上側) ..... 1  
背板 (下側) ..... 1  
背板取付ビス ..... 10  
EIAマウントビス ..... 16  
山形ワッシャー ..... 16

#### 木製扉セット

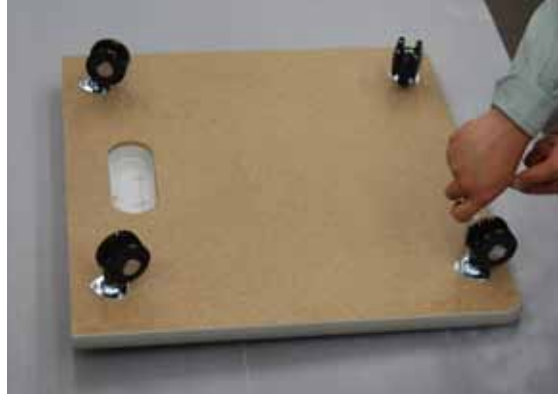
木製扉 (左) ..... 1  
木製扉 (右) ..... 1  
鍵 ..... 2

棚板 ..... オプション品

### 1 キャスターの取付

用意する部品

- 底板 1 ●キャスター 2 ●キャスター (ストッパー付) 2
- 底板裏面にキャスターを取付ます。(ストッパー付を前に) ドライバーでしっかりと締めてください。



### 2 底板、側板の組立

用意する部品

- 底板 1 ●側板 2
- 側板の凸部を底板の穴に差し込み、写真のようにネジを4か所右へ回して締め付けます。



※側板はマグネットが上部に来るよう設置します。



### 3 背板 (下)の取付

用意する部品

- 背板 (下) 各 1 ●背板取付ビス 4
- 背板をラック背面部分にはめ込み、側板後面の枠に打ち込んであるナットに向かってビスを締めます。



### 4 木製扉、天板の組立

用意する部品

- 木製扉 (左右) 各 1

- 木製扉に取付けているヒンジの凸部を底板の外側のヒンジ受け穴に差し込みます。



- 側板の凸部と木製扉のヒンジを穴に差し込めるように天板をのせます。穴の位置を確認したらしっかりと差し込み底板と同様に4ヶ所のネジを右へ回して締め付けます。





※木製扉は右側上部に鍵が付くよう組立てます。






- 木製扉は開けるときの閉めるときも、マグネットピースを静かに押ししてください。

# 安全上のご注意 必ずお守りください





●この取扱説明書で使用している表示と意味は次のようになっています。

	<b>警告</b>	表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容
	<b>注意</b>	表示の内容を無視して誤った使い方をしたときに「傷害を負う可能性または物理的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容









## 表示用図記号の区分と説明

	気をつけていただきたい「注意喚起」内容
	してはいけない「禁止」内容
	必ず実行していただく「強制」内容

## 警告

- 組立説明書の順に組み立てて、ネジをしっかり締め付ける。  
(ネジの締め付けが不十分だとラックの破損及びガラス扉のワレの原因になります。) 
- ラックに乗ったりぶら下がったりしない。特に幼いお子様いるご家庭ではご注意ください。  
(倒れたりこわれたりして、けがの原因となります。)
- ガラスは、ぶついたり鋭利な物でキズつけたりしない。  
(ワレることがあり危険です。) 
- 裏板は、はずして使用しない。  
(取り付けないで使用すると強度が不足して危険です。) 
- 直射日光の当たる所や、ストーブのそばなど温度の高い場所には置かない。  
(過熱や火災の原因になります。) 

## 注意

- 棚受けダボは必ず4本使用する。  
(1本欠けても危険です。) 
- 製品の改造や部品をはずしたまま使用しない。  
(安全のため。) 
- 平らなしっかりした床に設置する。  
(振動の多い場所には置かない。) 
- 壁の前に設置する場合にはラック後面を壁面から10cm以上離す。  
(過熱防止のため。) 
- 搭載制限重量の表示以上に載せない。  
(安全のため。) 
- ガラス扉の開閉は静かにおこなう。  
(ガラスのワレ防止のため。) 
- ラックを移動するときは、セットを取り出して移動してください。  
(転倒や事故のおそれがあります。) 
- ガラス扉の開閉時に指をはさまないように注意する。  
(けがの原因となります。) 

※改良のため、仕様及び外観は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

### お手入れの仕方

- 通常のお手入れとして、時々乾いた柔らかい布で、から拭きしてください。  
汚れがついたときは5~6倍に薄めた中性洗剤でふき取り、水拭きした後、乾いた布で、から拭きしてください。  
ベンジンやシンナー系溶剤で拭いたり、ぬれたまま放置しないでください。  
変色の原因になります。

取説 No. 121207BR110D

MADE IN JAPAN

## 5 背板(上)の取付

用意する部品

- 背板(上) 1 ●背板取付ビス 6

- 背板(下)と同様にラック背面部分にはめ込み、側板後面の枠に打ち込んであるナットに向かってビスを締めます。



## 6 棚板の設置 (オプション品)

用意する部品

- 棚板 1 ●金ダボ 4

- 収納する機器の高さに合わせて棚受けダボを側板のダボ穴に差し込み、その上に棚板の裏面の溝が合うようにのせます。

\* アンプ等、熱の出る機器の上は20mm以上隙間をとってください。



株式会社 ケイ アイ シー

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-28-11

TEL. 03-3357-4839(代)

<http://www.kic-corp.co.jp>